



こちらからも
アクセスできます

議会だよりへの意見をお待ちしております



主な内容

◆議案審議	1面
◆予算審査	2・3面
◆代表質問	4・5面
◆一般質問	5・6・7面
◆審議結果一覧表	8面
◆第2回(6月)定例会議日程	8面

第1回(3月)定例会議

令和5年度予算を原案可決

第1回(3月)定例会議は、2月22日から3月24日までの31日間の日程で開催されました。
この定例会議では、令和5年度の各会計予算や条例の一部改正など、市長提出議案等26件(うち、報告1件)を審議しました。



『桜の下で』撮影者: 県立秦野曾屋高等学校写真部 渡邊 晴さん(撮影場所 秦野市カルチャーパーク)

5月と11月発行号の表紙写真については、市内県立高等学校写真部の生徒から作品を提供していただいています。

議会からの政策提言書手交式を執り行いました

秦野市議会は令和4年1月から通年会期制を導入したことから、常任委員会を機動的に開催できるようになったことから、各常任委員会において毎月のように政策提言に向けた調査・研究を行ってきました。

約1年にわたる調査・研究の成果を初めて「議会からの政策提言書」としてとりまとめ、市長に提出する手交式を、5年3月20日に行いました。



提言時の様子を
秦野市議会 YouTube で公開しています



詳しくは
こちら

表紙写真を募集します!

テーマ: 秦野の風景、地域の行事など
「はだの議会だより」第249号(令和5年8月中旬発行)の表紙写真を募集します。多くの皆さまの応募をお待ちしております。
締め切り: 令和5年7月21日(金) 必着

応募方法: 申し込み用紙と写真データをメール、郵送または持参



詳しくはこちら

各常任委員会の政策提言書

総務常任委員会

防災意識の高揚に向けた提言書

文教福祉常任委員会

みんなを「つなぐ」
エイジフレンドリーシティに向けて

環境都市常任委員会

地域経済の活性化に向けた切れ目のない
観光体験の実現のための政策提言書

議案 旧大根幼稚園の園舎を拠点に「はだのE-Lab」を開設
議案第8号 秦野市教育研究所設置条例の一部を改正することについて
▼要旨
教育研究所の機能強化を図ることを目的に、現在、市役所内にある同研究所を旧大根幼稚園の園舎に移設するため、改正するもの。
なお、この条例は、令和5年5月1日から施行するもの。
▼付託委員会
文教福祉常任委員会
▼委員会での主な質疑・要望
問 教育研究所の機能を強化するため、旧大根幼稚園の園舎を活用し、新たに「はだのE-Lab(イーラボ)」として整備することだが、大きな柱の一つである不登校児童・生徒への支援体制強化についての考えはどのようなか。
答 大根・鶴巻地区での支援拡充

を目的とし、訪問型個別支援教室「つばさ」のサテライト施設として活用する。5年8月から、週2回程度の実施を想定し、スクールソーシャルワーカーを配置することで、福祉面での支援強化も見込んでいる。
問 「はだのE-Lab」を開設することで、利便性の向上につながることを期待するが、市内2箇所での運用に対応するための職員の体制はどうか。
答 現在、教育指導課長と兼務体制となつている教育研究所長を専任職とし、指導主事4人と合わせた5人体制で開設する。運営にあたっては、「つばさ」の支援員との連携を密にして進めたい。
要望 4年度からデジタル教材を活用し、個々のニーズに合わせた学習支援が始まっており、学校以

外での学びを求める子どもに対する学習機会が広がっていると感じる。不登校の児童・生徒には多くの選択肢が必要であることから、本施設内への不登校特例校の設置についても検討してほしい。
▼本会議での賛成討論
研究所の機能のみで活用するのではなく、私立こども園の誘致も考慮することを要望して賛成する。
▼採決の結果
委員会 原案可決(賛成全員)
本会議 原案可決(賛成全員)



教育研究所が設置される旧大根幼稚園園舎

令和5年度各会計予算額

会計区分	令和5年度当初	令和4年度当初	増減額	増減率
一般会計	555億7,000万円	528億7,000万円	27億円	5.1%
水道事業会計	38億5,000万円	37億4,900万円	1億100万円	2.7%
公共下水道事業会計	55億3,300万円	57億700万円	△1億7,400万円	△3.0%
国民健康保険事業特別会計	170億9,600万円	173億2,700万円	△2億3,100万円	△1.3%
介護保険事業特別会計	139億6,800万円	136億400万円	3億6,400万円	2.7%
後期高齢者医療事業特別会計	28億5,700万円	26億8,600万円	1億7,100万円	6.4%
計	988億7,400万円	959億4,300万円	29億3,100万円	3.1%

令和5年度予算を市議会が慎重に審査

～輝くふるさと秦野の未来を切り開くため
積極果敢に挑む予算 原案可決～

市長から提出された令和5年度予算案のうち、「一般会計予算」、そして「水道事業」、「公共下水道事業」の2企業会計予算、さらに「国民健康保険事業」、「介護保険事業」、「後期高齢者医療事業」の3特別会計予算の各議案については、3月2日の本会議において予算決算常任委員会に付託しました。

同委員会は、3月3日、6日、7日に5年度予算審査を行うための各分科会を開催し、所管ごとに集中的な審査を行った後、3月24日に座長報告と採決を行い、本会議で審議の結果、原案のとおり可決しました。(以下質疑、討論などの要旨を掲載)

なお、審査の詳細については秦野市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。(令和5年3月第1回定例会議の会議録は、5月下旬からご覧いただけます。)



一般会計 総務分科会

公債費について

問 令和3年度に借り入れた臨時財政対策債については今後の償還に備え、財政調整基金に積み立てていた財源を活用し、繰上償還を行うことで利子負担を軽減できるとのことだが、その効果額はどのようか。

答 対象である臨時財政対策債は、地方公共団体金融機構から借り入れているが、5年9月までに繰上償還した場合、償還の期限となる23年度までの総額で661万7000円の利子負担の軽減を見込んでいる。

要望 今後も、未来への投資や負担軽減につながる施策に積極的に取り組み、歳入の確保や歳出の削減に努め、市民に分かりやすく健全な財政運営に努めてほしい。

自治会連合会活動支援事業費について

問 市の行事や防犯、防災情報にパソコンやスマートフォンを通してアクセスできる、自治会SNSアプリ「いちのいち」は、操作が不慣れな人への対応や、なりすましの対策が必要と考えるがどうか。

答 各自治会で、操作が不慣れな高齢者には見守りを兼ねて回覧板を回す工夫をしている。なりすましがあ



自治会・町内会SNSアプリ「いちのいち」

った場合は、管理者である小田急電鉄株式会社が不適切な投稿を削除するなど、安全な運用に努めている。

固定資産税賦課費について

問 固定資産の適切な把握、評価を図るため、家屋の異動状況調査を毎年度実施しているが、令和5年度はAIを用いた業務改善を行うとのことである。期待される効果はどうか。

答 従来は、課税の基準となる毎年1月1日時点の空中写真を目視により見比べて差異を抽出していたが、AIの機能を活用することで、取り壊された建物と新築したものを的確に把握し、事務の効率化を推進するものである。

消防施設維持補修事業費について

問 消防施設の老朽化による設備更新や職場環境の改善をするため、必

要な施設の改修をすべきと考えるが、令和5年度における計画はどうか。

答 鶴巻・大根の2分署で予定しており、鶴巻分署は仮眠室を除く空調設備の更新を、大根分署は事務室の床などの内装工事を中心とした施設の改修を予定している。

要望 大根分署は、建設から45年が経過し、敷地も狭いため、将来的には移転再整備も視野に入れていると思うが、今後も職場環境の整備に取り組んでほしい。



改修が予定されている消防署大根分署

一般会計 文教福祉分科会

障害児早期療育推進事業費について

問 発達に遅れのある児童の心身の成長を促すことを目的とした本事業について、医療面での日常的なケアを必要とする医療的ケア児への支援に新たに取り組むとのことだが、具体的な支援内容はどのようか。

答 相談事業所などに、医療的ケア児等コーディネーターを配置し、保護者の相談などに対応するとともに、アドバイザーを保育所などに派遣し、



「ことばの相談室」がある保健福祉センター

職員へ対応方法を指導・助言する取り組みを独自に行う予定である。

要望 子どもの発達障害には早期発見・早期療育が求められるため、発達検査や言語訓練などを行う「ことばの相談室」のサテライト相談室を大根・鶴巻地区に開設してほしい。

放課後児童健全育成推進事業費について

問 放課後児童ホームの対象を小学6年生まで拡大するに当たり、校舎から独立した建物を使用しているなどの要件に合致した末広小学校をモデル校とするとのことだが、実施に伴う課題への対応はどのようか。

答 学校によっては新たな教室の確保が必要となることに加え、実務を担う放課後児童支援員の不足を解消することや幅広い層の児童に対応できる人材の育成も求められており、実施状況を検証し、準備を進めたい。

要望 支援員の不安を解消するため、新たに教職員経験のあるコーディネーターを配置することであり、

支援員のモチベーションが低下しないよう、十分に配慮してほしい。

意見 対象学年の拡充に当たり、保護者のニーズを把握したとのことだが、利用者である子どもの満足度についても十分に検討すべきである。

地域部活動推進事業費について

問 地域部活動の推進は、運動部のみが先行しがちだが、令和4年度は運動部に加え、県内で唯一、文化部の実証研究として南中学校吹奏楽部の段階的な地域移行に取り組んだとのことだが、今後の課題はどうか。

答 従来の部活動顧問は、技術面の指導だけでなく、スケジュール管理なども担っており、運営面のサポートが課題と考える。さらに、生徒や保護者の期待や不安への丁寧な説明が求められる。

要望 指導を望む教職員もいるため、指導者として兼職・兼務できる体制を整備し、子どもたちのための地域部活動を目指してほしい。

郷土文学資料収集等経費について

問 本市ゆかりの歌人である前田夕暮の生誕140周年記念事業を実施することだが、ゆかりのある他自治体との連携を目的とした「夕暮ネットワーク」構築の考えはどうか。

答 生誕記念事業は100周年以降、10年ごとに取り組んできた。市立図書館に記念室を整備するなど、情報の拠点は本市であると考えている。一過性とならないよう、他自治体などとの連携を検討したい。



「夕暮のさと」の石碑

一般会計 環境都市分科会

地球温暖化対策事業費について

問 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、削減率の目標が高い家庭部門の二酸化炭素排出量の削減が有効であると考えますが、家庭でできる対策の実施状況と令和5年度の取り組みはどのようなか。

答 児童・生徒などを対象としたエコスクールや省エネ家電の買い替え助成などを実施した。今後も国や県の制度周知を図るとともに、家庭での行動を促すには助成制度が有効であるため市独自の助成も検討したい。

要望 省エネへの関心を高めるため、本庁舎のグリーンカーテンの設置場所は来庁者に見やすい位置まで拡げるとともに、効果を可視化してほしい。

農業経営基盤強化促進事業費について

問 令和5年度は、重点的に農業利用を進める区域を定めた目標地図や地域計画を作成するほか、農業機械導入の経費を支援することなどが、農作物のブランディングや販路の整備・強化の考えはどのようなか。

答 農業者自身や農業協同組合の部会を通じて品種選定や高品質化に取り組むことで付加価値をつけ、販路を確保し、ブランド化につなげたい。



持続可能な農業経営に向けた後押しを

表丹沢魅力づくり推進事業費について

問 本市に特化した文化資源の活用を図ることは、表丹沢の魅力を支える取り組みの一つとして、重要な要素であると考えます。表丹沢魅力づくり構想における文化財活用の位置付けと今後の展開はどのようなか。

答 構想ではさまざまな分野の資源を磨き、つなげ、触れる機会を増やし、一人一人が本物の魅力を見つけることを目指しており、各拠点での効果的な情報発信を支援することに取り組みに掲げている。今後とも庁内の横断的な連携で、文化資源を活用しながら地域の活性化につなげる。

意見 それぞれ魅力を感じる場所となるよう、市内に点在する伝承文化財などを結び付け、面として捉え、地域全体の魅力を引き出す環境整備が必要である。

移住定住促進事業費について

問 本事業は、将来的な担税力が期待できる子育て世代を主な対象としているとのことだが、ミライエ秦野に開設する移住お試し住宅の位置付けと期待される効果はどのようなか。

答 まちなかの便利さと、子育て環境に恵まれた暮らしを提案する施設として位置付ける予定である。生活利便性の高い市街地として住宅が多い場所にあり、ミライエ秦野自体も常時入居可能なため、体験後の本格移住につながりやすくなることを考える。



移住お試し住宅を開始する「ミライエ秦野」

討 論

▶本会議での反対討論

環境を破壊する新東名高速道路などの整備を進めることや子ども・子育て支援における本市独自の施策がないことなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

未来を見据えた政策に対して積極的に投資する令和5年度予算では、財政調整基金を大幅に取り崩しているが、その理由には借り入れた臨時財政対策債の繰上償還を行うことが含まれており、将来の世代に負担を残さないということは評価する。

施政方針で表明した、切れ目のない子育て支援については、産科有床診療所の誘致や妊産婦へのタクシー利用助成事業の開始のほか、小児医療費の助成では中学生まで所得制限の撤廃をすることなどが、切れ目のない施策の充実を図るためには、早い段階で小児医療費の助成対象を高校3年生までに拡充してほしい。

新東名高速道路の開通を最大活用するとともに、地域の特性を生かした企業誘致や小田急線4駅周辺のにぎわい創造においては、県道705号周辺を迅速に整備し、にぎわいの好循環が地域全体へ波及することを期待する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)・本会議 原案可決(賛成多数)

議会の動向

○2月

- 14日(火)・政治倫理審査会
- 15日(水)・議案送付
- 16日(木)・議員連絡会・議員研修会
・議会全員協議会・議会運営委員会
- 20日(月)・議会運営委員会
- 22日(水)・市議会第1回定例会議開会
- 28日(火)・本会議(代表質問)

○3月

- 1日(水)・本会議(代表質問)
- 2日(木)・本会議(議案審議)・代表者会議・議会運営委員会
- 3日(金)・予算決算常任委員会(令和5年度予算・総務分科会)
- 6日(月)・予算決算常任委員会(令和5年度予算・文教福祉分科会)
- 7日(火)・予算決算常任委員会(令和5年度予算・環境都市分科会)
- 9日(木)・総務常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・総務分科会)
- 10日(金)・文教福祉常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・文教福祉分科会)
- 13日(月)・環境都市常任委員会
・予算決算常任委員会(補正予算・環境都市分科会)
- 15日(水)・本会議(一般質問)
- 16日(木)・本会議(一般質問)・代表者会議・追加議案送付
- 20日(月)・政策提言書手交式
- 24日(金)・議会運営委員会・予算決算常任委員会
・市議会第1回定例会議閉会・臨時議員連絡会
・議会運営委員会・議会報編集委員会・政治倫理審査会
- 27日(月)・秦野市伊勢原市環境衛生組合議会第1回定例会
- 30日(木)・政治倫理審査会

○4月

- 5日(水)・政治倫理審査会
- 14日(金)・代表者会議・議員連絡会・議会運営委員会

○5月

- 15日(月)・代表者会議・議会報編集委員会・議会運営委員会
- 16日(火)・議員連絡会

水道事業会計

漏水対策費について

問 給水量のうち、実際に使用した水の量の割合を示す有収率の向上は、貴重な水資源浪費の防止と、水道事業の健全な経営の観点からも大切な指標だが、現状の分析と比率を増やす考えはどのようなか。

答 有収率が低下する最大の要因は漏水であり、現在、市内全域を5つの区域に分け、調査業務を計画的に行っている。令和5年度からは、各配水場の夜間配水量を分析し、漏水の可能性が高い配水区を重点的に調査することで、早期発見に努める。

▶本会議での反対討論

水道料金の引き上げを行う際は累進的にすべきであることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

動力費が高騰しているため、代替エネルギーへの開発投資の検討を要望し、賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

公共下水道事業会計

計画調査費について

問 下水道施設の動力費などの高騰と、設備の耐震化や更新に必要な費用の増大を鑑みれば、なでしこ運動広場の土地などの活用は真剣に検討すべき課題であると感じるが、令和5年度に活用の考えはあるか。

答 当該用地は下水処理を高度に行う施設の配置計画に位置付けられている。用地取得後の土地利用は近年の人口減少や節水機器の普及に伴い全国的な課題となっており、国の方針など全国の動向を注視して適切に対応していきたい。

▶本会議での反対討論

生活困窮世帯には下水道使用料を減免すべきであることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

施設などの更新・耐震化を見据えた財源確保に向け、一層の経営努力を要望し賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

国民健康保険事業 特別会計

▶本会議での反対討論

短期証などの発行は、治療抑制につながるものが危惧されることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

一定の所得がない市民に対して、負担割合の検証をすることを要望し、賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

後期高齢者医療事業 特別会計

一日人間ドック事業費について

要望 自らの健康状態を把握し、病気の早期発見・治療につなげることは医療費抑制の視点からも重要である。一日人間ドックの受検者が増加傾向にあることから、現在の助成制度を継続してほしい。

▶本会議での反対討論

年齢差別と負担増の制度である現行制度は廃止し、老人保健制度に戻すべきであるため、反対する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)

介護保険事業特別会計

地域支援事業費について

問 要介護・要支援状態を改善し、介護保険からの卒業を目指すため、口腔環境を整えてきちんと食べられる体を作り、運動により筋力をつけ生活動作の改善を図る、短期集中型のサービスを実施しているとのことだが、その効果はどのようなか。

答 入れ歯を作り直すことで噛みしめられ、踏ん張りが効くことで歩行が安定した人が、リハビリによりさらに転倒しづらくなった事例もあるなど、例年約800人が介護予防・日常生活支援総合事業を利用し、近年110人ほどが介護保険から卒業している。

▶本会議での反対討論

一定の所得がある利用者には3割負担を求めていることなどから、反対する。

▶本会議での賛成討論

本市が計画する事業への参

入を条件に希望する事業の開設を認めることを要望し賛成する。

▶採決の結果

委員会 原案可決(賛成多数)
本会議 原案可決(賛成多数)



施政方針に代表質問

定例会議初日に示された市長の施政方針や令和5年度予算に対して行う「代表質問」は、2月28日、3月1日の2日間にわたり、各会派からの代表5人により行われました。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載)
各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、代表質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



よく聴き、行動する 未来を見据えた「できるまち」へ

創和会 福森 真司



一 市長の政治姿勢について

問 市長は、未来を見据えた全国屈指の森林観光都市を目指しているが、未来を切り開くための施策についてのビジョンはどのようなものか。
答 移住・定住施策や企業誘致を推進するとともに税外収入による財源確保とデジタル化による業務の効率化や歳出削減など持続可能な自治体経営の実践に努めていく。

二 新年度予算の基本姿勢について

問 社会経済環境が厳しさを増し、日々変化し続ける中、市長の経営手腕が、今、まさに問われていると考えるが、基本姿勢はどうか。
答 厳しい状況が続く中、今後も持続可能な財政運営に努めながら、ふるさと秦野の未来を切り開き、積極果敢に取り組んでいく。

三 幼児教育・保育の質の充実について

問 施政方針では、体験コンテンツを担う人材育成に取り組むと述べたが、今後の展開はどのようなか。
答 表丹沢で活動する団体などと連携し、効果的な情報発信や「OMOTAN」のさらなる認知向上とブランド化を推進していく。



表丹沢総合ホームページ「OMOTAN」

六 はだの行政サービス改革基本方針に基づく取組の推進について

問 新たな価値を創出する公民連携を進める中、鶴巻温泉弘法の里湯の令和7年度以降の※指定管理者制度導入に向けた状況はどうか。



真に必要な事業を選択し 持続可能な財政運営を

市民クラブ 野々山 静香



一 持続可能な財政運営について

問 新たな事業やこれまでの事業を拡大する一方で、P D C A サイクルによる事業の見直しや再構築はどのように行われたのか。
答 全ての事業においてP D C A サイクルを記載した予算要求書を作成し、内容やヒアリングから事業の必要性を判断した。スケールメリットを生かした一括発注やデジタル化、LED化などで一時的な費用の増大は生じるが、市民の利便性を高め、事務の効率化や将来的な経費削減が見込まれる事業には積極的な投資を行った。

二 健康で安心して暮らせるプロジェクトについて

問 社会構造の変化に伴い、制度や分野ごとの縦割りを超えて、地域住民一人一人がつながることで地域共生社会の実現を目指すものとしている。複合的な相談に対する支援体制はどのようなか。
答 これまでの体制をより充実させるとともに、新年度は継続的な伴走型支援を行うアウトリーチ事業を開始する。多機関協働による包括的な相談体制の充実を図り、市民に寄り添った支援とする。

三 未来を拓く子育て・教育プロジェクトについて

問 秦野赤十字病院の分娩業務休止から8年、市内唯一の産婦人科医院も令和5年2月末で分娩が休止となる。新たに産科有床診療所への支援や、妊産婦タクシー利用助成事業の創設に取り組む一方で、秦野赤十字病院での分娩業務再開について、考えはどのようなか。
答 現在、産科有床診療所をグループで運営している医療法人と開設に向けた協議を進めている。身近で安心して分娩できるよう、小児科や他の診療科を有する秦野赤十字病院での分娩業務再開も引き続き実現に向けて取り組んでいく。



七 多様な担い手による協働の推進について

問 県内に先駆け「企業版ふるさと納税人材派遣制度」を活用するとのことだが、受け入れた人材の具体的な活用方法はどのようなか。
答 優先的に取り組んでいる、小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクトのうち、電子地域通貨の導入に向けた取り組みに2年間従事してもらう予定である。

八 市制施行70周年に向けた取組



全国一おいしい水道水をPRすることで 住みたいまちNo.1を目指せ

公明党 山下 博己



一 市庁舎等の照明設備のLED化について

問 LED化を進めるに当たって、対象施設の省エネ効果は、どの程度を見込んでいるか。
答 50施設を対象に年間2600万円の電気料金の削減を見込む。

二 名水スポットの整備について

問 令和5年度における具体的な整備の内容はどのようなか。
答 誰もが立ち寄り気軽に給水できるよう、市営水道を活用したままちなかの名水スポットを整備する。

三 包括的な相談支援体制の充実について

問 移動ニーズに対応した持続可能な公共交通施策を検討していく。
五 スクール・サポート・スタッフ



自分事として取り組むまちづくりに向け 地域住民の機運醸成を

自民党秦野 今井 実



一 市政に臨む基本方針について

問 施政方針で、物価高騰対策などに最優先で取り組むと表明したが、アフターコロナを踏まえた経済対策の取り組みはどうか。
答 新たな融資制度により脱炭素などに取り組む企業への支援を行うほか、電子地域通貨など商業のデジタル化による消費喚起を図る。

二 未来を拓く子育て・教育プロジェクトについて

問 戸川地区の地域特性を生かした企業誘致の特徴はどのようなか。
答 新東名高速道路に近接する輸送拠点であることなど、本市の持つポテンシャルをアピールしたい。

三 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクトについて

問 4駅それぞれに、にぎわい創造検討懇話会を設け、課題や意見を集約するに当たり、地域が自分事としてまちづくりに関わる機運の醸成が必要と考えるがどうか。
答 まちの将来の方向性を示す未来ビジョンの策定過程において、愛着や誇りを持ち、地域に何ができるかを考えてもらう必要がある。



名水スポット「弘法の清水」



駅周辺のにぎわい創造を

四 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクトについて

問 鶴巻温泉弘法の里湯について、令和7年度以降の指定管理者制度の導入でさらなる来客が予想されるが施設の規模から賄い切れぬ不安があり、宮永岳彦記念美術館の活用を含め考えてほしい。

五 新たな日常創造プロジェクトについて

問 企業誘致の方向性を明確にし、成就する展開にしてほしい。

※指定管理者制度…多様化する住民ニーズに、より効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減などを図ることを目的に、公の施設の管理運営を広く民間企業やNPO 法人などを含む事業者へ委ねることを可能にした制度のこと

議長公務(3月~5月)

議長の主な公務についてお知らせします。より詳細な公務日程については、市議会ホームページでも公開しています。



小菅 基司 議長

- 3月 27日(月) 令和4年度第2回ねりんピックかながわ2022秦野市実行委員会総会
29日(水) 令和4年度市民による森林づくり実行委員会第1回会議
30日(木) 神奈川県議会議員会 監事会
4月 5日(水) 秦野・坡州友好協会2023年度定期総会(副議長代理出席)
16日(日) 第67回秦野丹沢まつり
18日(火) 秦野パサデナ友好協会2023年度定期総会
19日(水) 秦野地区更生保護女性会 令和5年度総会(副議長代理出席)
20日(木) 秦野市自治会連合会新旧役員歓迎会(副議長代理出席)
24日(月) 秦野市国際交流協会2023年度定期総会
25日(火) 令和5年度秦野市ボランティア連絡会総会
5月 7日(日) 第53回公募秦野美術協会展表彰式
18日(木) 秦野市防犯対策連絡協議会(副議長代理出席)
18日(木) 関東市議会議員会第3回支部長会議



市民一人一人の想いを重視し 誰もが暮らしやすいまち秦野へ

自民党・新政クラブ 風間 正子

結婚支援策について

総合計画において位置付けた結婚支援策を令和5年度に拡充することだが、これまでの取り組みと、その成果はどうか。

若手職員主体のプロジェクトチームを立ち上げ事業の企画、立案などを行った。結婚機運醸成のため開催したセミナーではアンケートを行い、結婚意欲のある参加者が求める支援内容を把握できた。

新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進について

スマートインスターチェンジから市街地へのアクセス性を高める道路などの取り組みはどうか。

周辺道路の交通量増加に対応した都市計画道路の早期整備が実現するよう、着実に事業を進める。

はだの丹沢ライフ応援事業について

令和4年度に始めた、若者世帯などの住宅購入費の一部を助成する「はだの丹沢ライフ応援事業」の効果と今後の展望はどうか。

利用者の約半数を市外からの転入が占めるなど移住世帯を呼び込む上でも有効であり、今後も事業を広げ移住・定住を促進する。

保育士・保育所の負担軽減について

働きやすい保育環境を目指す。保育士の業務負担の軽減が必要と考えるが、市の取り組みはどうか。

保育士から直接相談を受けるなど、保育現場で抱える課題解決を支援し、負担軽減に努めている。保護者や保育士などの相談機会の確保、使用済みおむつの処分を公立・民間園共にしてほしい。

つながる取組について

市民一人一人の平和を愛する心を育むため、平和意識の普及・啓発を推進する方針はどうか。

あらゆる機会を捉え市民の平和意識の高揚を図ることで「平和を愛する市民のまち」を実現する。要望 平和を想う市民の主体的な活動を積極的に支援してほしい。



保育士が動きやすい環境づくりを

一般質問



一般質問は、3月15日、16日の2日間行われ、14人の議員が登壇しました。一般質問は、5面から7面に掲載しています。(質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載) 各議員の記事にある二次元コードを読み込むと、一般質問の動画を視聴できます。(通信費は利用者の負担となります。)



駅周辺の限りある空間を有効活用し まちの活性化に努めよ

創 和会 谷 和雄 小田急線4駅周辺のにぎわい創造について

令和5年度施政方針において、秦野駅北口周辺の低未利用地や道路空間を効果的に活用するため社会実験を行うと聞くが、これは4駅に共通する課題である。渋沢駅北口広場周辺では、朝夕の一般車の送迎により、バスなどの運行に支障が出ている。市営渋沢駅北口駐車場について駐車後30分を無料とし一般車に開放すれば、渋滞の解消につながると思うがどうか。

無 所属 伊藤 大輔 相次ぐ不適切保育 まずは保育士の労働環境の改善を



相次ぐ不適切保育 まずは保育士の労働環境の改善を

無 所属 伊藤 大輔 保育所の利用環境の改善について

民間保育所なども公立園と同様、1歳児4人に対して保育士などを1人配置できるよう、市の補助基準の見直しを求める陳情の12月議会での採択を受け、具体的な見直し方法はどうか。

定数外保育士雇用費は、現状、1歳児に限らず、必要保育士数を超えて雇用する経費が対象となっており、制度の全体的な検討を行う必要があると考えている。

定数外保育士雇用費が60%しか活用されていない要因は何か。

だが、渋滞解消の効果を検証し、使い方の工夫について検討したい。要望 渋滞解消により北口広場にスペースが生まれ、市民協働の場が確保できるので、交通状況の改善はもとより、安全でにぎわいのある暮らしにつなげてほしい。二 森林・里山との共生について 本市の52%を占める森林では、野生鳥獣との共生も重要である。鳥獣による農業被害の対策として個体数を一定に保つ上で、ジビエを食材として活用することは、秦野ならではの魅力につながると思うが、活用の展望とブランド化の考えはどうか。

・月ごとの「保育士実人員」-「保育士定数」を算定・その人数に対し、次に掲げる額が対象となる

Table with 2 columns: 人数 (Number of staff) and 月額 (Monthly amount). Rows: 1.0人~1.9人 (210,000円), 2.0人~2.4人 (420,000円), 2.5人以上 (525,000円).

定数外保育士雇用費の補助基準額



算数は習熟度別クラスによる授業を実現せよ

無 所属 吉村 慶一 教育・子育て施策について

ボランティアの寺小屋「ひろはた自習・相談室」での私の10年の経験によると、小学校高学年の算数の小数、分数、割合、速さなどの単元では、児童に習熟度の差が明確に出てくる。その差を無視

して一律に同じ授業を受けさせることは、授業を理解できない児童を生むことになり、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念や「何を学んだかよりも、何がでるようになったか」を目指す非認知能力重視の教育理念に反することだと思ふ。まずは算数について習熟度別のクラス編成で授業を行うことが必要と考えるがどうか。

学習指導要領には、個に応じた指導の充実を図るとの規定があるが、児童を習熟度別に編成する学習形態は、自己肯定感や学習意欲に影響があり、保護者の理解や児童の心情への配慮が重要である。中央教育審議会の答申は、個別最適な学びの実現と、教師が教える



夕方の渋沢駅北口広場の様子



農業振興に新技術を

自民党秦野 高橋 文雄 駅周辺のまちづくりについて

秦野駅南都土地地区面整理事業のうち、C地区は都市基盤の整備方針を示すのに時間を要している。地権者が理解できるように具体的な計画内容を説明すべきだがどうか。

関係機関との協議を進め、地権者の理解が得られるよう、説明会の開催などを検討していく。地域からの意見などを踏まえ、できることから整備を目指している。

二 名水ブランドの育成について 名水を生かしたPRなどには地域の気候風土と関係の深い農水産物の相性が良いと考えるが、秦野名水を活用した新たな事業として水産物養殖の実現性はどうか。

販売普及により市内外に認知させるほか、新たな産業創出という面で可能性を感じる。事業計画などの相談があれば秦野名水の利活用方針に沿って対応を検討する。

付加価値を生み出す新技術

の研究支援に取り組んでほしい。三 市の花・なでしこについて 令和5年度には、栽培の普及・啓発用として、3年ぶりとなるなでしこの原種を市民に配布することだが、どのような効果があるのか。



秦野名水を活用した付加価値創造を



タブレット端末を活用した授業風景

一般質問

(一般質問は5面・7面にも掲載)



戸川土地区画整理事業は住民合意を図って進めるべきだ

無所属 佐藤 文昭

一 福祉施策について
子育て世代の支援という観点から国民健康保険税の子どもの均等割は廃止すべきと考えるがどうか。

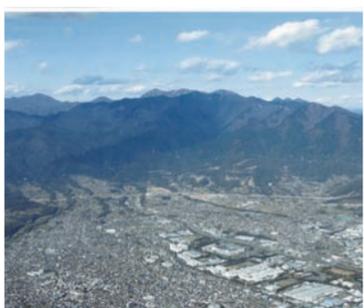
答 軽減措置同様、国内どこでも同じ恩恵が受けられるべきであり、医療保険制度全体の在り方の中で取り組むべきことと考えている。

二 教育施策について

問 日本国憲法に義務教育に関することは無償とされており、近隣でも給食費の無償化を実施する自治体が出てきている。本市でも無償化すべきと考えるがどうか。

答 県内で実施している自治体もあるが、本市では経済的に困難な家庭に対して給食費の全額を援助するなどの負担軽減を図っているため、現時点では検討していない。

大切に、地域に優しく調和を望む声がある。戸川地区では矢坪沢周辺の自然が、総合計画にある都市像の「水とみどり」の部分に該当すると考えられる。企業誘致優先ではなく地域の意見を優先して進めるべきと考えるがどうか。



地域住民と一緒に観光客が滞留できるまちづくりを



本市の立地優位性を生かした観光農業の推進を

自民党 相原 學

一 北地区の地域資源の活用について

問 スマートインターチェンジから程近い菩提地区においては、さまざまな地域資源を活用して誘客を図るべきと思うがどうか。

答 令和2年に策定した「表丹沢魅力づくり構想」の中で、表丹沢野外活動センターを自然体験拠点と位置付け、地域固有の自然や歴史・文化などの資源の活用、例えば「五所神巡り」などを参考に、誘客と表丹沢の魅力向上を図り地

域活性化につなげていきたい。問 本市が誇る多くの地域資源を市内外に周知することが重要と思うが、有効な手法はどのようなか。答 インターネットやスマートフォンの普及に伴いSNSが多くの世代で利用されているため、ツイッター、インスタグラムで発信していきたい。また本市で4年に開設した「OMOTAN」ホームページなどで一体的かつ戦略的にPRすることが有効な手段と考える。

二 本市の農業の活性化について 観光農業について現状や今後の取り組みはどのようなか。答 令和4年4月に市内の体験型農業の拡充を推進し、秦野市観光農園推進基本方針を定め、一年を通じていつでも「旬」を感じる「旬感体験」ができる秦野市を指している。今後は、観光農業の拡充による新たな誘客や観光消費額の増加に向け、関係部署や本市農業協同組合と連携していきたい。



落花生の掘り取り観光



誰もが暮らしやすい秦野の構築を

公明党 中村 英仁

一 要介護認定の申請について

問 要介護認定の申請件数が増加しており、速やかに認定を行うべきである。そこで、申請や認定審査などをデジタル化することでスピードアップを図ることができると考えるがどうか。

答 現在、国では行政手続きのオンライン窓口であるマイナポータルを開始しており、本市でもマイナポータルからの電子申請を令和5年5月に導入する予定である。認定審査会のデジタル化は多額な経費が掛かるため、まずは先進事例を研究していきたい。

二 投票率の向上について

問 高齢者や障がい者が投票の際にスムーズに支援を受けられるよう、他自治体で導入している「選挙支援カード」を導入すべきと考えるがどうか。

答 支援カードの記載内容や効果的な周知方法、職員の対応など、導入自治体の事例を調査し、導入



職員向けの研修風景

三 パートナリシップ制度について

問 この制度は大変デリケートな制度だが、市民に理解してもらうための周知、職員の教育はどのようなか。

答 広報はだのや市ホームページ、講演会・映画会、パネル展示などで周知していく。職員向けには、すでに2回研修を実施した。今後継続し、職員の理解を深めていく。



事業を見直すルールを明確に

市民クラブ 八尋 伸二

一 行政の施策や事業について

問 市の歳入予算は市税などの各種税金から成り立っているが、本市の担税力はどの程度か。

答 市民一人当たりの税負担額は13万7910円であり、県内政令市を除く16市の平均額16万2376円との差額は2万4466円で、16市中15番目となり、個人市民税における令和3年度の所得割額は16市中13番目となっている。

問 多くの部署が連携する事業や施策でのPDCAサイクルの回し方や廃止を含む見直しの判断はどのようにしているのか。答 組織の横断が必要な連携事業については特別枠として取りま



ガイドラインの策定で幼児教育・保育の質の向上を

無所属 古木 勝久

一 子ども・子育て支援について

問 民間保育園で不適切な保育とされる事件が発生したが、本市はこれまで予防保全のために、どのような取り組みをしてきたのか。

答 基本的な保育指針などを示しているが、検討すべき内容があれば、乳幼児教育保育支援センターを設置後、その中で対応する。

問 「不適切な保育」の予防には、子どもの人権や保育労働の環境がチェックできる保育の質のガイドラインが必要と思うがどうか。

答 関係者や学識経験者の意見を聞き、今後、本市の保育の質の向上に向けて、検討していきたい。

二 震生湖の保存について
問 令和3年3月の予算決算常任委員会で震生湖誕生の記録などの集大成を図ることを提案したが、現在の取り組みはどうか。
答 データの保存のほか、記念冊子の作成を予定し、次の100年につなげていけるよう取り組む。
問 寺田寅彦の震生湖に関する研究の業績や句碑などの解説板の設置が必要と思うがどうか。

答 今後、検討していきたい。
問 予算決算常任委員会などで太鼓橋の改修を提案したが、今回、改修のための設計や地質調査で約3千万円が計上された。太鼓橋の土地は中井町であり、どのような負担割合で連携をしていくのか。
答 太鼓橋の形状や費用など必要な条件を整理し、中井町と協議しながら進めていく。



子どもの人権を守るためのガイドラインを



住宅用火災警報器設置率は100%を目指せ

創和会 原 聡

一 通学路の安全対策について

問 令和4年度に提出された通学路に対する改善要望は95件であるが、その内容はどのようなか。
答 現在、代替案を含め、51件対応しているが、横断歩道設置の案件が9件と多く、啓発看板の設置などで、注意喚起を促している。

要望 平沢地区に設置した横断歩道のようなグリーンベルトの効果を広げ周知し、対策を必要とする箇所へ積極的に取り入れてほしい。

二 一時預かり保育について
問 本市の一時預かり事業の利用実績と現状はどのようなか。
答 保育所など36園中15園で、令和元年度は7470人が利用した。

問 市内4駅周辺に、一時預かり保育センターなどの設置は可能か。どの導入を検討し、事業の見直しを容易にできるようにしてほしい。

三 住宅防火対策の推進について
問 住宅用火災警報器給付事業の概要と開始時期、また、適正な維持管理に関わる広報はどのようなか。
答 要介護認定を受け、火災発生時に避難が困難な人に対して、消防職員が自宅に出向き設置する。開始時期は令和5年11月ごろを予定。火災による損失リスクなどの調査内容を活用し、消防団などと連携して普及啓発を行っていく。

要望 逃げ遅れによる犠牲者を防ぐため、住宅用火災警報器の設置率100%を目指してほしい。



新潟県柏崎市のデジタル予算書トップページ



住宅用火災警報器の設置を



秦野版共同養育システムで子育てが楽しいまちを目指せ

公明党 横山むらさき

一 外出が楽しいまちについて

問 コロナ禍での外出自粛によるフレイルの進行が懸念される。①誰もが主体的に健康づくりに取り組めるよう、健康ポイントラリー事業の拡充の考えは、②公共交通不便地域の高齢者の外出をサポートするための取り組みは、どうか。

答

①75歳以上でも参加できるように全市民を対象とし、電子地域通貨の活用などのデジタル化についても関係部署と検討する。②外出支援を担うボランティアとして活躍してもらえようように地域支援型認定ドライバーの養成研修を行うことで、移動支援団体による外出機会の創出につながっている。

二 子育て支援について

問 ①働く保護者や保育士の負担軽減となる保育所の紙おむつ回収処理の検討状況は、②ワンオペ育児となつている親子の孤立化を防ぐため、一時預かり事業で※レス



子育てしやすい環境づくりを



花の魅力を最大限活用した森林観光都市を目指せ

創和会 諸星 光

一 花を活用した観光振興について

問 本市は都心近郊でありながら豊かな自然を体感できるため、登山やハイキングに多くの人が訪れる。森林観光都市を目指すためには、花などの植物を活用し、付加

価値をつけるべきと思うがどうか。

答 これまでも花のある観光地づくりを進めてきたが、既存の手法にとらわれず、花の魅力を最大限に活用できるよう取り組んでいく。要望 多くのハイカーが二度、三度と訪れるよう年間を通じて多様な種類の花などの植物が楽しめる観光地づくりに取り組んでほしい。

二 待機児童対策と保育環境の充実について

問 出生数や年少人口が減少している中、地域によっては保育所の定員割れや低年齢児の保育士確保を心配する声も聞こえるが、今後の対応はどのようなか。

答 国による保育所などの多機能化への取り組みなども注視しながら、



花が楽しめる観光地づくりを(写真は、県立秦野戸川公園)



東海大学望星丸洋上体験研修など愛と勇気で生きる力を

創和会 阿蘇 佳一

一 子どもの命と未来について

問 ①全国で令和3年度に自殺した児童・生徒数は368人。子どもを守る対策は、②幼い頃から多くの体験をすることが大事と考えるが、望星丸を活用した中学生洋上体験事業は、③東海大学児童教育学部との連携は、どうか。

答

①相談室の開設など安心できる学校づくりに取り組む。②生きる力を育むため、体験学習は持続可能な形となるよう努める。③旧大根幼稚園の園舎を活用する「はだのE-Lab(イーラボ)」の開

二 広域強盗と特殊詐欺について

問 特殊詐欺などの犯罪件数は令和4年に566件、被害総額は4674万円であり、日本は犯罪が少ないという安全神話が崩れると心配するが対策はどのようなか。

答

警察と連携して注意喚起を行い、金融機関との防犯対策についても調査・研究をしていく。

三 南海トラフ地震と富士山の噴火について

問 南海トラフ地震は全国で死者32万人、被害総額220兆円と推計され、富士山の噴火の誘発も指

答

本市で震度5弱から5強、全壊建物は10棟未満、半壊建物は330棟、死者、重傷者は共に10人未満、火山灰は30センチ以上と想定され、地域防災計画に位置付けて必要な対策を講じていく。

高齢労働者への支援の強化を望む

市民クラブ 大野 祐司

一 高齢労働者の安全と健康確保について

問 市職員と市内中小企業の高齢労働者に対して運動機能測定を実施または支援し、不足している機能を補えるようなトレーニングを行うことで、高齢労働者が安心して働ける環境づくりの一助になると考えるがどうか。

答

「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」では、事業者には、高齢労働者の健康や体力の把握と対応が求められ、

三 ふるさと納税の現状と課題について

問 ふるさと納税の市場規模が1兆円を超す日もそう遠くないと言われる中、秦野ならではの価値や資源を活用することで、戦略的に魅力や関係人口の創出に向けて取り組むべきと考えられるがどうか。

答

秦野の魅力に触れられる新たな体験型返礼品の発掘に努め、関係人口の創出につなげていきたい。



高齢労働者が安心して働ける環境を



望星丸で行う中学生の洋上体験研修

本会議と常任委員会の会議録インターネットで閲覧できます

本会議における一般質問や議案審議をはじめ、常任委員会などの会議録を会議録検索システムから検索・閲覧することができます。

このシステムでは、発言のすべてが検索・閲覧できます。

多くの皆様からのアクセスをお待ちしております。

[こちらからアクセスできます▶](#)

令和5年2月16日 議員研修会を実施
～ハラスメントについて学ぶ～

平成28年度に始めてから5回目となる今回は、株式会社人財開発研究所の北澤清孝氏を講師に招き、ハラスメントに関する基礎知識を再確認するとともに、ハラスメントの判断基準を理解し、未然に防ぐ問題意識を高めるための研修を受けました。研修では、議員がグループごとに分かれて話し合う時間が設けられました。

北澤氏は、ハラスメント防止に向けて注意すべきことは、お互いを尊重し合うことであり、普段から議員同士、職員とも活発にコミュニケーションをとり、自分の考えと違う場合も受け止めていく姿勢が必要であること、周りも見過ごすことなく、組織全体の問題として改善していくことが必要であると説明されました。

また、議会内の常識と一般常識のずれを常に確認し、自分が当たり前だと思っている考え方を相手に無意識に要求していないかを振り返る必要があると指摘されました。

政治倫理規程に抵触する疑いがある事件の審査結果について

1 職員に過重な負担を感じさせている議員の特定について

【令和4年12月23日付請求内容】 職員との事務調整に関し、身体的・精神的に過重な負担を感じさせている議員の特定と事実関係の調査を求める。

【政治倫理審査会からの結果報告】 職員の受け方と対象議員の認識に相違があり事実確認が困難であった。ただし、職員が過重な負担を感じている行為として捉えられていることに留意し、対象議員には今後、適切に対応するよう注意が必要である。

【議長の対応】 規程に基づく措置は行わないが、対象議員に対し文書で注意した。また、このような疑念が持たれたことは、議会全体の問題として捉え、全議員に対し文書により高い倫理観を持って議員としての品位を保つよう指示をした。

2 議員と移動図書館「新たんざわ号」の関係について

【令和5年2月1日付請求内容】 議員が日常的に車両を利用しているなど公私混同の疑いがあること、また、車両には特定の事業所名が掲載されていることから調査を求める。

【政治倫理審査会からの結果報告】 ボランティアを行う一個人としての活動であり、規程に抵触しているとは認められず、審査会で審査・調査することは適当ではない。

【議長の対応】 規程に基づく措置は行わない。

※ここに記載した内容は、一部を抜粋したものです。詳しくはこちら▶

用語解説 ※レスパイト…一時休止・休息を意味する言葉のこと
※被爆アオギリ二世…昭和20(1945)年8月6日、広島に原子爆弾が投下された際に、被爆で損傷しながらも青葉を茂らせた被爆アオギリから採取した菌を発芽させて育てた二世の苗木のこと

<第1回(3月)定例会議の審議結果一覧表>

○：賛成 ●：反対 欠：欠席

Table with columns for district (区分), proposal number (議案番号), proposal name (議案等名), decision result (採決の結果), and voting members (創和会, 自民党・新政クラブ, etc.). Includes a QR code for more details.

Advertisement for TUKASA construction services, featuring images of heavy machinery and contact information.

Advertisement for TEAM AZABU Remake, a professional exterior painting group, with contact details and a QR code.

Agenda for the 2nd meeting (June) of the regular council meeting, listing dates, times, and topics.